

10月

## 新着図書

契り橋 あきない世傳 金と銀 特別巻(上)

著者名:高田 郁  
出版者:角川春樹事務所

シリーズを彩ったさまざまな登場人物たちのうち、四人を各編の主演に据えた短編集。五鈴屋を出奔した惣次が、如何にして井筒屋三代目保晴となったのかを描いた「風を抱く」。生真面目な佐助の、恋の今昔に纏わる「はた結び」。老いを自覚し、どう生きるか悩むお竹の「百代の過客」。あのひとに対する、賢輔の長きに亘る秘めた想いの行方を描く「契り橋」。商い一筋、ひたむきに懸命に生きてきたひとびとの、切なくとも幸せに至る物語の開幕。まずは上巻の登場です！

かっかどるどるどう

著者名:若竹 千佐子  
出版者:河出書房新社

心もとない毎を送る四人は、引きつけられるように古いアパートの一室を訪れるようになる。そこでは片倉吉野という不思議な女性が、訪れる人たちに食事をふるまっていた。

空鳥(ヌエ)の碑

著者名:京極 夏彦  
出版者:講談社

百鬼夜行シリーズ17年ぶりの新作長編がついに！殺人の記憶を持つ娘に惑わされる作家。消えた三つの他殺体を追う刑事。妖光に翻弄される学僧。失踪者を追い求める探偵。死者の声を聞くために訪れた女。そして見え隠れする公安の影。発掘された古文書の鑑定に駆り出された古書肆は、纏れ合いキメラの如き様相を示す「化け物の幽霊」を破えるか。シリーズ最新作。

可燃物

著者名:米澤 穂信  
出版者:文藝春秋

太田市の住宅街で連続放火事件が発生した。県警葛班が捜査に当てられるが、容疑者を絞り込めないうちに、犯行がびたりと止まってしまう。犯行の動機は何か？なぜ放火は止まったのか？犯人の姿が像を結ばず捜査は行き詰まるかに見えたが…(「可燃物」)。連続放火事件の“見えざる共通項”を探り出す表題作を始め、葛警部の鮮やかな推理が光る5編。

霜月記

著者名:砂原 浩太郎  
出版者:講談社

18歳の草壁総次郎は、何の前触れもなく致仕して失踪した父・藤右衛門に代わり、町奉行となる。名判官と謳われた祖父・左太夫は、毎日暇を持て余す隠居後の屈託を抱えつつ、若さにあふれた総次郎を眩しく思って過している。ある日、遊里・柳町で殺人が起こる。総次郎は遺体のそばに、父のもと似た根付が落ちていたのを見つけ、また、遺体の傷跡の太刀筋が草壁家が代々通う道場の流派のものではないかと疑いを持つ。

乱菊

著者名:辻堂 魁  
出版者:光文社

それは、きらめく銀色の刃が、凄惨な切腹場を果敢ない幻影に包みこみ、誰もが息を呑んで言葉を失くし、切腹場の一切の物音がかき消えた、厳かにすら感じられる一瞬だった。十八歳の春、首斬人としての生業を継いだ男の極致。

リクエスト  
ありがとうございます

十戒

著者名:夕木 春央  
出版者:講談社

叔父が生前所有していた小さな無人島「青島」にリゾートを開業することとなり、里英はその視察に父や関係者たちと一緒に訪れることになった。初日の夜が明けると、参加者9人のうち、1人が殺されていた。犯人は私たちの中にいる。しかし警察に通報することはできない。なぜなら、「この島にいる3日の間、決して殺人犯を見つけてはならない」、それがわたしたちに課された戒律だったのだ。

むかしむかしあるところに、死体があってもめでたしめでたし。

著者名:青柳 碧人  
出版者:双葉社

一世を風靡したといっても過言ではない、日本の昔ばなしをミステリーで読み解いた『むか死』シリーズの最新刊にして最終巻。あっと驚くミステリーのもとになった昔ばなしは「こぶとりじいさん」「耳なし芳一」「舌切り雀」「三年寝太郎」そして「金太郎」——いずれも趣向に富んだ、これまでの作品に勝るとも劣らない作品集

台湾漫遊鉄道のふたり

著者名:楊 双子/三浦 裕子  
出版者:中央公論新社

昭和十三年、五月の台湾。作家・青山千鶴子は講演旅行に招かれ、台湾人通訳・王千鶴と出会う。現地の食文化や歴史に通じるのみならず、料理の腕まで天才的な千鶴と台湾縦貫鉄道に乗りこみ、つぎつぎ台湾の味に魅了されていく。ただ、いつまでも心の奥を見せない千鶴に、千鶴子の焦燥感は募り…国家の争い、女性への抑圧、植民地をめぐる立場の差。あらゆる壁に阻まれ、近づいては離れるふたりの旅の終点は一。

もりあがれ！タイダーン ヨシタケシンスケ対談集

著者名:ヨシタケ シンスケ  
出版者:白泉社

絵本作家ヨシタケシンスケが11人と対談！たっぶりの描きおろしも合体！

リクエスト  
ありがとうございます

10月

## 新着図書

## じじいは蜜の味

著者名:財津 和夫  
 出版者:中央公論新社

若者にはわからない年寄りだけの“好事”。作詞の楽しみ、諦める力、消えない愛。老いの不安もとろけるエッセイ。

## メメントモリ

著者名:ヨシタケ シンスケ  
 出版者:KADOKAWA

「生きる意味」や「生きる目的」って必要ですか? 「必ず死ぬのに、生きる意味ってなに?」。不思議な姉弟のメメントモリの会話から、そのヒントが見つかるかもしれません。読めば読むほど新しい発見があるヨシタケシンスケ最新作。

ニチレイフーズの広報さんに教わる食材の冷凍、これが正解です!

著者名:ニチレイフーズ  
 出版者:KADOKAWA

よく使う食材の冷凍テク、全部載せました。たっぷり150食材以上収録

## パンドロぼうとほっかほっカー

著者名:柴田 ケイコ  
 出版者:KADOKAWA

パンドロぼうの「愛車」登場!? 大人気シリーズ最新作! ヤギのおばあさんの頼みで、パンを届けにでかけたパンドロぼう。なかなかたどりつかずうなだれる横を、一台の車がとおりすぎますが……。ほかほかのパンとほかほかの思いをのせて、「ほっかほっカー」が走りだす!

